

船舶インシデント調査報告書

令和6年4月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（燃料供給不能）
発生日時	令和5年8月19日 19時00分ごろ
発生場所	福岡県糸島市姫島北東方沖 筑前姫島港東防波堤灯台から真方位026° 3.0海里付近 （概位 北緯33° 36.7′ 東経130° 04.8′）
インシデントの概要	プレジャーボート 竜神丸 ^{リョウジン} は、航行中、主機が停止し、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和5年9月25日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート 竜神丸、5トン未満（長さ6.18m） 293-21441福岡、個人所有 ディーゼル機関、船内機、4サイクル、出力58.85kW、回転数 毎分3,000、4気筒、ボア91.5mm、使用燃料軽油、昭和63 年8月進水
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m 日没時刻：19時02分ごろ
インシデントの経過	本船は、船長が1人で乗り組み、友人2人を乗せ、釣りをを行う目的 で福岡県福岡市岐志漁港 ^{きし} を出港し、姫島北東方沖を航行中、警報が鳴 るとともに主機が停止した。 船長は、主機の再始動を試みたが、主機が始動直後に停止するこ を繰り返した後に始動できなくなり、運航不能と判断して118番通 報した。 本船は、来援した水難救済会の救助船にえい航されて帰港した。 本船は、本インシデント後、機関修理業者により主機の点検が行わ れ、燃料タンクから主機に燃料を供給する耐圧ホースの内部がゴミ等 で閉塞し、燃料油が主機に供給されなくなっていたことが判明した。 船長は、本インシデント発生の約4年前に本船を購入後、定期的に 燃料フィルターの点検及び交換を行っていたが、燃料タンク内の点検 を行ったことはなかった。
分析	本船は、燃料タンク内の点検が行われていない状態で航行中、燃料 タンクから主機に燃料を供給する耐圧ホースがゴミ等で閉塞したこ から、主機に燃料が供給できなくなって主機が停止し、運航不能と

	なったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、燃料タンク内の点検が行われていない状態で航行中、燃料タンクから主機に燃料を供給する耐圧ホースがゴミ等で閉塞したため、主機に燃料が供給できなくなったことにより発生したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 船長は、定期的に燃料タンク内の点検及び清掃を行うこと。